

与論島の海

いつまでもきれいに!

EM菌を活用した

環境に優しいプール掃除 与論小学校

夏になると子どもたちが楽しみにしているプール学習。しかし、前の年から放置されているプールには、ヘドロやアオコがびっしり!しかもひどい悪臭で、プール掃除はとて大変な作業です。

そこで与論小学校では、環境学習の一環として、EM菌の力を借りたプール掃除を行いました。EM菌は、私たちの生活や自然界に役立つ微生物の集まりで、これをプールに投入することで汚れを分解し、海へ流れ出るヘドロやアオコの量が少なくなるのが期待されます。

ここでは、与論小学校での活動内容をご紹介します。

① EM培養液をつくる



▲EM培養液をつくります。「なんだか甘い香り!」

米ぬかと糖蜜、EM菌液を混ぜて、子どもたちが自分専用のペットボトルでEM菌を培養しました。日光の熱を利用して、貴重な発酵体験をしました。

② EM培養液をプールに投入!



▲プールサイドから投入。目に見えないEM菌が汚れを食べる。本当?

この培養液の中に含まれるEM菌が、プールの底に溜まったヘドロやアオコなどを分解します。10月と、4月の2回にわけて培養液を投入しました。

③ いよいよプール掃除



▲掃除をしてみると、その効果を体感することができました。

先生と子どもたちの手で、プール掃除を開始。「いつもの臭いにおいがないね。」「あんまりこするところないよ。」「EM菌が食べたの?」など、子どもたちの声が聞こえました。EM菌投入によって、確かに成果は見られたようです!

今回の環境学習を通して 与論小郡山校長先生よりひと言

美しい与論島の海は貴重な財産です。子どもたちにとっても、生活の一部であり、楽しみや幸せをたくさん提供してくれる身近で大切な存在です。自分専用のペットボトルでEM菌を培養したことで、自分も海をきれいにすることに役立ったという意識を持てたと思います。

これを機に、自慢の海を守るために、自分たち出来る事は他にないかと考え、生活に生かそうとする子どもたちに育ててくれたらいいなあと思っています。

EM菌のおかげで、例年よりずっと掃除がスムーズでした。このことは、水の節約にも、授業時間の確保にもつながりました!

知ろう 守ろう 奄美のサンゴ

奄美群島サンゴ礁シンポジウム開催

「知ろう 守ろう 奄美のサンゴ」をテーマに、奄美群島サンゴ礁シンポジウムが、6月12日与論町地域福祉センターにおいて、奄美群島サンゴ礁保全対策協議会主催により開催されました。島内外から70名を超える参加者が集まりました。

九州大学大学院理学府付属 天草臨海研究所の野島哲教授による基調講演では、1998年に奄美群島でも見られた大規模なサンゴの白化現象から現在に至る奄美の海の現状について、そして失われたサンゴ礁の再生に向けての取り組みについてお話しいただきました。

また、奄美大島、徳之島、与論島におけるサンゴ礁保全に向けた取り組みについての



高田



与論島の現状報告をする高田さん(上) パネルディスカッションの様子(下)

未来に残そう青い海

海洋汚染にはいろいろな原因がありますが、一般家庭からの生活排水も汚染原因の一つとなっています。私たち一人一人が島のためにできる海洋汚染防止について実行しましょう!

ご家庭で...

- 残った油を流さない!
- 飲み残した牛乳等も流さない!

マリンレジャーで...

- ゴミを捨てない!
- ゴミを持ち帰る!

次のような場合は、ご連絡下さい!

- 海にゴミを捨てている人・船舶を見かけたとき。
- 海岸に多量の廃棄物が捨てられていたとき。



JCG 奄美海上保安部
AMAMI COAST GUARD OFFICE

〒894-0034 鹿児島県奄美市名瀬入舟町22番1号

0997-52-5811



島のきれいな海を汚さないで!